

平成 27 年度 山田小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会まとめ

開催日	平成 27 年 10 月 16 日 (金)	会場	市民体育館
-----	-----------------------	----	-------

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
旭ヶ丘自治会	錦田地区地域包括支援センター	旭ヶ丘子ども会
三恵台自治会	加茂保育園	三恵台子ども会
若松町自治会	旭ヶ丘幼稚園、PTA	山田中学校
民生委員・児童委員	山田小学校、PTA	エコリーダー
旭ヶ丘旭寿会	学校支援地域本部	防犯サポーター
保健委員		

※当日参加者 22 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- 山田小 PTA：10/4(日)スポーツフェスティバルを実施。以前の山田小地区運動会を誰でも自由に参加できる形にしたもの。地域の役員の負担を軽減しつつ、3年前より開催。
- 加茂保育園：10/3(土)運動会を実施。子育て支援センター「ひよこランド」の利用者 10 組の親子も参加した。今後も利用者の参加を増やしていきたい。
- 山田中学校：8/29(土)を「命について真剣に考える日」と位置付け、本年度より学年毎に命に関わるテーマを設けた授業参観を行い、その後避難訓練・引き取り訓練を実施した。
- 学校支援地域本部：山田中学校支援地域本部が設置され、花壇ボランティア、草刈ボランティアを募集中。空いている時間を使ってご協力いただきたい。
- 旭ヶ丘子ども会：2ヶ月続けて廃品回収の際に、集積所から廃品が盗まれた。→写真を撮る等して市へ連絡してもらえれば、張り込みや警察へ通報をすることができる。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
①平日昼間の防災体制を整えよう！	4人
②子どもの安全のために地域ぐるみで取り組もう！	12人
③高齢者の健康や生きがいのために地域でできることを考えよう！	3人
④その他	0人

※アンケートの結果、①と②に分かれ話し合いました。

テーマ別会議①：「平日昼間の防災体制を整えよう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>短時間で役員が交代し、問題解決できないまま</u> ・ <u>(課題解決のため) 昼間の体制、サブ班、長期任期を作った</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地震発生」放送し、黄色いハンカチ利用し、集合訓練行う ・ 路上駐車を取り締まり ・ 老人会と町内会と話し合い、老人会の役割などについて検討する必要あり（あまり老人会に期待はできないが、数人は活躍できる） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震後、防犯パトロールと協力 ・ 防犯パトロールとの連携を
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自助 ・ 自助が大切（必要な方には自助のサポートも） ・ 高齢者が多くなったためストレッチ体操を月2回実施 ⇒災害時に自分の力で自分を守る体力をつける ・ 家庭内の転倒防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時、何ができるか地域の方と話し合う
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>マニュアルの見直し</u> ・ <u>マニュアルが役立っていない</u> ・ <u>マニュアルに頼ってはダメ</u> ・ <u>情報交換・交流・連携が重要</u> ・ <u>行政から正確で具体的な情報がほしい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報共有 ・ 現地・現物を見てもらう（防災倉庫の資機材見学） ・ 資機材や水のアンケートを実施する ・ 組ごとに訓練 ・ 消火器の設置場所の確認 ・ ブロック塀の危険度を知ってもらう ・ 中学生と危険箇所チェック ・ 校区内の各自主防の担当者の「定期連絡会」の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 組の常会で情報共有 ・ 年1回の組の常会の活用 ・ 避難時の要介護者はいないか、毎年確認する ・ 防災について各家庭での情報交換をする
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>横のつながりがほしい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニケーション（共助につながる） ・ 横のつながり作り ・ 少なくとも両隣、日頃からの声かけあいさつ ・ できるだけ道路に人が出るような仕掛け ・ サロンで（高齢者）防災体制の確認 ・ 高齢者を支援するケアマネジャーに地域の情報を 	<ul style="list-style-type: none"> ● 花壇はコミュニティの場づくり ・ 花壇ボランティアをコミュニティの場としても活かすことができる（ウェルカムガーデン三恵台） ・ 町内の人の名前・顔をできるだけ知る ● ハロウィンで子どもの名前を知る ・ 子ども会の行事で毎年ハロウィンの日に3歳くらいから中学生が各家庭に来るので、その時に顔や名前を聞いたりしてお互いを知る。

※下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

テーマ別会議②：「子どもの安全のために地域ぐるみで取り組もう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつできる子・できない子がいる ・スクールガード（15名）・学校支援本部を立ち上げた ・小学校PTAで登下校の見守りを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ声かけUP ・スクールガードの組織化 	<p>●あいさつの輪を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをやり続けることが大切 ⇒続ければ数か月後に効果が出る ・日頃からあいさつを交わし、顔見知りになることが大事 ・誰にでもあいさつをする ・市内一斉のあいさつ運動（年3回）への地域の参加 ・あいさつ運動を全戸一斉にやってみる ・家庭で地域の方へのあいさつをするように指導する。親がまず示す ・空き巣もあいさつされると侵入できず未遂に終わることがある ・気軽に声かけをしたい ・児童会を中心としたあいさつ運動の実施 ・校内だけでなく地域へのあいさつ運動
<ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小の交流会を計画している ・花壇ボランティア ・現状を知らないのでサポートできない 	<p>●連携の輪を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働いている母親と知り合う方法 ・幼・保・小の連携（保護者も含め） ・小学生と中学生がつながる場面の設定 ・登校時の交通安全の見守りに中学生に参加させられないか 	
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー加茂付近は、なかなか交通事故が減らない ・子どもの危険行為がある ⇒学校での指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・山田中への通学路の安全確保 ・PTAと学校、地域の方の情報共有が必要 <p>●交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室に地域の人々も参加 ・大人の交通マナー・意識の向上 ・交通安全教室を現場で行う 	<p>●通学路の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校への通学路の整備（初音台、三恵台～中学校裏門の街灯等） <p>●危険箇所などを共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリとした現場の写真を使い、学校でケーススタディ（※身近な現場なので頭に入りやすい） ・不審者情報の共有を進める ・6年生「交通安全を語る会」⇒まとめを下級生にも教える ・とにかく情報の発信をする（市の事故・防犯の情報へのアクセス） ・グーグルのストリートビューを使う
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の会員数減少（親の都合） ・入会者が少ない⇒役員が大変だから？ 	<p>●子ども会の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体を行政他にお願いできないか ・子ども会役員の負担のない運営方法に ・他団体との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動に地域家庭の参加を募る ・情報を発信する⇒活動、廃品回収などの収支や問題点を知らせる

※下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

